

**公益社団法人砥粒加工学会 研磨の基礎科学とイノベーション化専門委員会**  
**第12回研究会【研磨工具の接触点解析とその場観察から考える研磨メカニズムとその評価】開催ご案内**

主催：(公社)砥粒加工学会 研磨の基礎科学とイノベーション化専門委員会  
 共催：金沢工業大学 FMT 研究所

2015年2月、(公社)砥粒加工学会に「研磨の基礎科学とイノベーション化専門委員会」が設立されました。本専門委員会では、「温故知新」の名言に倣い、研磨の歴史・ノウハウ・技術伝承の在り方を探り、そこから次代に向けた課題の明確化とその解決手法開発に取り組むことを目指します。第12回研究会を【研磨工具の接触点解析とその場観察から考える研磨メカニズムとその評価】と題して開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしています。



略称:KENMA 研究会

**日 時**：2018年11月27日(火) 13:00～20:00  
 (研究会・・・13:00～17:20, **拡大技術交流会・・・17:40～20:00**)

**開催場所**：日本大学 理工学部 駿河台キャンパス 1号館 6階 CST ホール  
 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14  
 (TEL：03-3259-0514) ※地図のAの建物です。

<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/> (アクセスマップ)

JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩3分  
 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分  
 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分

※会場を「金沢工業大学 KIT 虎ノ門大学院」から変更しております。お間違い無きようお願いいたします。



**内 容**：

**「テーマ：研磨工具の接触点解析とその場観察から考える研磨メカニズムとその評価」**

13:00～13:10 開会挨拶 委員長 畝田道雄 (金沢工業大学)

13:10～17:00 話題提供

<技術講演>

**1) 13:10～13:50 レーザ式と画像式の複合による研磨後ウェハ欠陥検査効率化**

株式会社クボタ 計測システム部 計測グループ グループ長 井上直樹 氏

**2) 13:50～14:30 拡大パッド模型を使ったマイクロスケール・スラリー流れの可視化**

徳山工業高等専門学校 機械電気工学科 准教授 福田 明 氏

**3) 14:30～15:10 砥粒の保持性・滞留性に着目した高機能ラップ工具の開発**

株式会社クリスタル光学 技術開発部 チームリーダー 川波多裕司 氏

15:10～15:30 休憩

<特別講演>

**4) 15:30～16:20 研磨パッドの接触点から考える研磨モデルの変遷と将来への展望**

株式会社ISTL 代表取締役社長 磯部 晶 氏

**5) 16:20～17:10 研磨パッドの突起と酸化膜パターンの接触モードによる平坦化モデリング**

Pusan National University Professor, 韓国研磨技術研究会 委員長 Haedo Jeong 氏

17:10～17:20 閉会の挨拶

副委員長 會田英雄 (長岡技術科学大学)

**17:40～20:00 拡大技術交流会 (会場を移して実施します・・・会場は現在調整中です。)**

**参加費**：6,000円。当日徴収致します。

**※研究会(講演会)終了後には場所を移し「拡大技術交流会(会費：4,000円)」を開催します。※**

**参加申込締切**：平成30年10月31日(金)

**参加申込先並びに問合せ先**：金沢工業大学 工学部 機械工学科 精密工学(畝田)研究室

KENMA 研究会事務局 竹澤瑛里子

TEL：076-248-1100

E-mail：[unc-asst@neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:unc-asst@neptune.kanazawa-it.ac.jp)

**※メールでお申し込みください※**

**KENMA 研究会「第12回研究会」 参加申込書**

氏名			
勤務先・所属			
参加内容 (参加されるものに○を付けて下さい)	研究会		拡大技術交流会
連絡先	住所		
	TEL		FAX
	E-mail		